

C-1 指導案

6年1組

国語科学習指導案

H20 5月28日 第2限

指導者：

1. 単元名 文章を読んで、自分の考えをもとう
2. 中心教材 生き物はつながりの中に (説明文)
3. 目標
 - ・ 説明的文章を読み取って筆者の問いかける内容に関心をもち、それに対する自分の考えをもとうとしている。 (関心・意欲・態度)
 - ・ **文章の構成や表現から要旨をとらえるとともに、自分が生き物として生きることや筆者の考えについて自分なりの考えをもつことができる。** (読むこと)
 - ・ 文章全体のおおまかな構成と、部分の役割を理解することができる。 (言語事項)
4. 評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
・「生き物はつながりの中に」を読み取って筆者の問いかける2つの内容に関心をもち、それに対する自分の考えをもとうとしている。	・自分を大切にすることと他を大切にすることが同じことだということをまとめている。 ・生き物として生きているということがすてきなことに思えるか、自分の考えをもっている。	・「問題提起」→「問題の解明」→「まとめ」→「筆者の考え」という文章構成を理解している。

5. 指導にあたって

(1) 児童について

前単元「本に親しみ、自分と対話しよう」の中心教材「カレーライス」では、自分たちで課題をつくり、考えの根拠となる文章や語句を探しながら作品を読み進めることができた。また、文末表現に着目して文章を読み、「考えた!」「わかった!」と自己評価する授業も数回あった。

しかし、文章を正確に読み取ることができない児童が多く、算数では問題をきちんと読めず正しく答えられないことが多々ある。さらに書くことに対して消極的で、ノートにまとめを書く際、箇条書きで黒板を写して終わろうとする児童もいる。したがって、読解力・記述力を育てることが緊急の課題である。

また、はずかしさや自信のなさから考えを発言することに対してためらいがちで、自主的な発言になると二の足を踏む児童が多い。

本教材に対しては、初発の感想でどの児童も本物とロボットのイヌとの違いはつかんでいる。しかし、本文を概観してのとらえであり、叙述にもとづいて正確に違いを示しているわけではない。また、5年生の「要旨をとらえ感想を持つ」学習を活用して筆者の考えに対して感想を述べている児童はただ一人である。

(2) 教材について

生き物の特徴を、ロボットのイヌと本物のイヌとを比較しながら解明している作品である。自分自身も生き物であることやたくさんのつながりの中で生きていることなどから、児童は共感しながら読んでいけるだろう。

文章構成は、「問題提起」→「問題の解明」→「まとめ・筆者の主張」となっていて、明快である。よって、説明文を読み取る力を定着させつつ、筆者の考えに対して自分の意見を表明する学習に適していると考えられる。どんな問題が提起されているのか、生き物の特徴は何なのか、とどこに人間の話が盛り込まれている意図は何なのか、根拠を明らかにしながら課題を解決させ、筆者の思いに迫りたい。

これまでの授業から、児童が互いの考えを知りわかり合えたとき、「考えた!」「わかった!」「もっとやりたい!」授業だと感じるととらえている。本教材では、筆者の考えに対する自分の思いを出し合う授業でその思いが頂点に達するのではないだろうか。(指導者はそう願っているが)

学習の最後には、生き物として生きている自分自身と向き合わせ、目的意識・相手意識をもって筆者に手紙を書き、書くことの楽しさも味わわせたい。

(3) 研究とのかかわり

—根拠を明確にして課題に取り組む授業—

上記の高学年の努力点に向かって以下のような支援を心がけて学習を進めていきたいと考える。

① 課題意識の持たせ方の工夫

- ・ 初発の感想を交流させる。
- ・ 学習の計画を立てさせる。
- ・ 課題をつくるまでに一人一人に文章と向き合う時間（自己学習）を設定する。
- ・ 課題について自分の考えをもって授業に臨ませる。
- ・ 課題に対するそれぞれの考えを書いた座席表を分析して発言の出番を考えさせる。

② 学習過程や評価の工夫

- ・ 設定した1つ目の課題を考えることで次の課題が解決しやすくなるよう、授業の展開を整理する。
- ・ 自己学習・グループ学習を効果的に取り入れ考えを深めさせる。
- ・ 文章構成や、児童の思考の流れや内容等がわかる構造的な板書を工夫する。
- ・ 児童のノートには必ず朱書きを入れる。(意欲を喚起する朱・考える視点を与える朱)
- ・ 毎時間「考えた!」「わかった!」「もっとやりたい!」授業だったか自己評価させ、次時に活かす。

③ 活用力の向上のために

- ・ 何が根拠なのか、何を根拠にするのか(文章や語句・友達の考えやノートを活用させてもらって・これまでの学習方法を活用して・これまでの学習内容を活用して等) 考えて発言させる。
- ・ 出番を考えて発言させ、その際、ノートを見てもいいが読んではいけないこととする。
- ・ 学習の流れや参考になる児童のノートに解説をつけて掲示する。

6. 指導計画（総時数10時間）

次	ねらい	主な学習活動と児童の意識	支援◎と評価☆
第一次 自己学習をしよう 2時間	感想を出し合い、学習の見通しをもつ。	<p>①○「生き物はつながりの中に」を読んで感想を書こう。 <感想を出し合おう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあちゃん・お母さんがいるから自分がいるんだな。 ・生きていくことは私の未来を作っていくこと。今この時を大切に生きたい。 ・最後の文の文末表現がこれまでの説明文と違っている。「思えてきませんか」ということは筆者のこだわりか？ <p>②<課題を作ろう></p> <p>○これまでの説明文の学習をふり返り課題を作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロボットのイヌと本物のイヌの違いは何だろう。 ・生き物の特徴は何だろう。 ・自分を大切にすることと他を大切にすることは同じことか。 ・生き物として生きているということはとてもすてきなことなのか。 ・要旨をとらえよう。 ・要約をしよう。 ・筆者の考えに対して自分の考えを主張しよう。 	<p>◎よく似た感想があればその後に感想を出させるようにする。</p> <p>◎それぞれの感想を板書で整理する。</p> <p>☆友達の発言を聞き、感想を出している。【関：発言】</p> <p>◎座席表を参考に出番を考えさせ、自主発言できないならば指名して機会を与える。</p> <p>◎既習の「サクラソウとトラマルハナバチ」を想起する。</p> <p>◎問題提示文から2つの課題を作る。</p> <p>◎8段落の筆者の問いかけに着目させ、課題を作る。</p> <p>☆文章の内容をおおまかにつかみ課題を作ることができる。</p> <p>【関：ノート】</p> <p>◎要旨について5年の教科書でふり返る。</p> <p>◎要約について「たいせつ」を読み理解する。</p>
第二次	文章の内容をとらえ筆者が読者に考えてもらいたいと願っていることを読み取ることが	<p>①<生き物のイヌとロボットのイヌの違いは何だろう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2から6段落を見たらわかる。 ・食べたえさが体を作る物質に変わる。 ・変化・成長しながら、一つの個体としてつながっている。 ・子孫を残すことができる。 ・電池がイヌの体には変わることはない。 ・変化や成長がない。 ・子孫を残すことができない。 	<p>◎違いを整理しやすいように、ワークシートを準備する。</p> <p>◎何段落の何文目にこう書いてあるから等と、根拠を示して発言するように指示する。</p> <p>☆本物のイヌとロボットのイヌの違いを理解している。【読：ワークシート・発言】</p> <p>◎主語と述語を確認したり、文末表現に目を向け言い切りの形を探したりする。</p>

<p>第二次 文章の内容をとらえよう 5時間</p>	<p>できる</p> <p>②<生き物の特徴は何だろう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4と5に「特徴です」と書いてある。 ・ 6にも書いてあるようだ。 ・ 7段落にまとめてある。 <div data-bbox="343 331 847 524" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外の世界とつながっている。 ・ 変化・成長しながら、一つの個体としてつながっている。 ・ 過去の生き物とつながっている。 </div> <p>③<自分を大切にすることと他を大切にすることは同じことなのか></p> <p>○自分の生活とつなげて考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人で生きているのではない。 ・ 家族や友達がいるから楽しい。 <div data-bbox="363 907 842 1167" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分は生き物であり、たくさんのつながりの中で生きている。自分一人で生きている人はいない。他があるから自分は生きることができる。だから、自分を大切にすることと他を大切にすることは同じである。</p> </div> <p>④<生き物として生きているということは、とてもすてきなことなのか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ すてきだ。 ・ 出会いや体験ができる。 ・ 支えられて生きている。 ・ 色々なことができ、幸せとを感じる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ すてきだとは思わない。 ・ 生きていてよかったと思っただけのことがない。 <div data-bbox="363 1592 906 1807" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>生きているから、未来があり夢がある。それは、生き物には心があるからである。たくさんのつながりの中で生きているからこそ、生き物らしいすばらしい生き方ができるのである。</p> </div>	<p>◎何段落から何段落まで読めばよいか確認する。</p> <p>◎特徴だと思う文章にサイドラインを引かせる。</p> <p>☆前時を踏まえて、生き物の特徴を三点にまとめている。【読】</p> <p>【言：ノート】</p> <p>◎1段落は問題提起、8段落は筆者の考えであることから2から7段落をもう一度見直す。</p> <p>◎8段落の①から⑤文を例を挙げて考えさせる。</p> <p>☆具体的に自分の考えをまとめている。【読：ノート】</p> <p>◎友達の考えを聞くことでヒントにし、自分なりの考えをまとめさせる。</p> <p>◎これまでに生きていて良かったと思っただけのことを思い出させる。</p> <p>☆具体的に自分の考えをまとめている。【読：ノート】</p> <p>◎8段落を読み返し、自分はそのつながりの中で生きていることをもう一度確認する。</p>
------------------------------------	---	--

		<p>⑤<要旨をとらえよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要旨は、筆者が述べたいことを中心。 ・8段落が筆者の述べたいことを中心だ。 <p>生き物の生き物らしいところは、外の世界とつながり、変化・成長しながら一つの個体としてつながり、地球上の生命の始まりまでさかのぼれる過去の歴史とつながっていることである。人間も生き物であり、すべてとつながって存在している。生き物として生きることはすてきなことである。</p>	<p>◎具体の部分で使われている言葉を使わずにまとめるよう助言する。</p> <p>☆要旨をまとめている。【読：ノート】</p> <p>◎文章構成図を書いてまとめる。</p> <p>◎大切な言葉を確認する。</p>
<p>第三次 自分の考えを出し合おう 3時間</p>	<p>筆者の考えに対して、自分の考えをもつ。</p>	<p>①<要約をしよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要約は文章の内容を短くまとめること。 ・要約は、物語でいうとあらすじみたいだ。 ・キーワードを入れてまとめよう。 ・生き物の特徴を入れよう。 ・かけがえのない存在であることとすべてのものとつながっていることも入れよう。 <p>生き物はロボットと違い、外の世界とつながり、一つの個体としてつながり、過去の生き物ともつながって存在している。人間は生き物である。私たち人間は、生き物としてかけがえのない一つの存在でありながら、全てとつながっている。生き物として、全てのものとのつながりの中で生きているというのは、とてもすてきなことだ。</p> <p>②<筆者の考えに対して自分の考えを主張しよう> 本時</p> <p>③<筆者に手紙を書こう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを聞いてもらいたいね。 ・思いが伝わるとうれしいな。 ・返事がほしいな。 <p>生き物にはつながりがあるからすばらしい。そのことについて賛成する。ぜひ筆者に自分の言葉で伝えたい。</p>	<p>◎「あなた」・「生き物」・「つながり」等のキーワードを確認する。</p> <p>☆生き物の特徴と筆者の考えを落とさずに、文章を要約している。</p> <p>【読言：ノート】</p> <p>◎要約の意味を確認し、これまでの学習をふり返る。</p> <p>◎文章構成図をふり返る。</p> <p>☆筆者の考えに対する自分の考えを出している。</p> <p>【読：発言、ノート】</p> <p>◎自分の考えを筆者に聞いてもらおうという目的意識をもって書かせる。</p> <p>☆筆者に主体的に手紙を書いている。【関：手紙】</p> <p>◎最も心に残ったことを書かせる。</p>

7. 本時の学習（第三次中の2時）

- (1) ねらい ・筆者の考えに対する自分の考えをまとめ、主張することができる。（読）
- (2) 準備 ・児童の考えの一部を簡単に書き込んだ座席表
- (3) 展開

学習活動	時	児童の意識の流れ	支援◎と評価☆
1. 座席表を分析する。 2. 8段落を読む。	5 5	<p><筆者の考えに対する自分の考えを主張しよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ○座席表を分析しよう。 ・筆者が一番言いたいことは8段落にあった。 ・8段落を読もう。 ・暗唱できるよ。 ○さらに要約を確認しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎座席表で友達の考えを知らせ、考えるヒントにする。 ◎1文ずつ筆者からの語りだと意識しながら読む。 ◎覚えている児童には暗唱させる。 ◎暗唱を聞きながら内容を確認する。
3. 考えを出し合う。	30	<p>賛成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあちゃん、お母さん、自分というように命がつながり、生きていることのできる楽しいことや楽しいことがある。だから生きていることはすてきなことだ。 ・生き物はたくさんのつながりの中で生きているし、だから楽しく生きられる。 ・良いことをすると人からほめられるし、うれしくなってまたがんばろうという気持ちになる。それは、人とのつながりの中で生きているからだと思う。 ・例えば国語の時間にいっぱい考えてわかり、もっとやりたくなる。それは生きているからで、みんなと一緒に勉強することでさらに楽しくなる。それは、つながり中で生きているから。 <p>反対</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きていてよかったと思ったことはない。疲れる。 ・それ以上に喜びがあるはず。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎友達の発言につなげて発言するように声をかける。 ◎誰の考えを聞きたいのか、目的意識を持って主体的に話し合いに参加させる。 ☆筆者の考えに対する自分の考えを出している。【読】：発言、ノート】 ◎ネームプレートを貼ることで意思表示することも認める。 ◎8段落の「あなた」を「わたし」に置きかえて読ませる。 ◎手取や林の考えを聞かせる。 ◎発言が出にくい時は、グループで出し合わせる。
4. まとめる。	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 生き物として生きていることはすばらしい。他とのつながりの中で生きている私たちは、これからも互いの心を大切に、生き物らしい生き方をしていきたい。 </div>	